

ART OF IBARAKI

Ibaraki Ceramic Art Museum



近現代日本陶芸の巨匠たち 茨城県陶芸美術館

表紙では、茨城県陶芸美術館所蔵作品の中から、文化勲章受章者及び重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品を中心に、日本の近現代陶芸を語る上で欠かせない作家たちの作品を紹介します。

松井 康成 まつい こうせい

昭和2年(1927年)ー平成15年(2003年)

「練上玻璃光壺」 ねりあげはりこうつぼ

平成13年(2001)

茨城県陶芸美術館蔵

h34.2×w36.6cm

松井康成は、笠間市の月崇寺で住職を務めながら作陶を行った作家で、1993年に重要無形文化財「練上手」保持者(人間国宝)に認定されました。松井は、自身の陶芸制作を仏道という行になぞらえ、作陶行と呼んでいました。練上は、色の異なる土を練り合わせて模様をつくる技法で、中国の唐代からはじまったといわれています。松井の練上による功績は、異なる色でも収縮率が変わらず、ひびや割れが生じない「同根異色」の土を生み出したことと、ロクロによる成形に成功したことにあります。本作品は、その技法に加え、晩年まで苦心した黄色を出すことに成功し、松井自身も特に気に入っていた一点です。また、作品名にある「玻璃」とは、仏教でいう七宝の一つで、水晶やガラスを指しています。

主な内容

- ▼ 茨城県の建設業者表彰
- ▼ 合同企業説明会を開催
- ▼ 創設100周年記念コンサート開催

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

優秀施工の47社5人に栄誉

茨城県 第59回建設業者表彰



茨城県の「第59回建設業者表彰式」が7月24日、県庁で挙行されました。受賞したのは、知事表彰16社、農林水産部長表彰6社、土木部長表彰20社、企業局長表彰5社の合計47社と、知事表彰優秀主任（監理）技術者5人、さらに今回で知事表彰10回受賞の1社と連続3回受賞の1社です。まことにめでとうございました。

表彰式で橋本昌知事は、災害時における地場建設業者の対応に触れ「道路啓開や現場確認など大変お世話になっている皆様に、これからも仕事を続けてもらうためにも、地場企業に対する発注をしっかりと成し遂げていく必要があると考えている。受賞者の皆様には、表彰を機になおいっそう技術に磨きをかけていただきたい」とあいさつしました。

本会からは岡部英男会長が、受賞者代表の秋山進氏（㈱秋山工務店代表）へ記念品を贈りました。続けて岡部会長は祝辞で「本日の受賞を契機に、引き続き技術の研鑽に努められ、より一層の発展を」と期待を寄せました。

受賞者を代表して大昭建設㈱の細谷武史代表は「今後とも技術面に一層の研鑽を重ね、公共工事



の担い手として、地域住民の福祉増進、県勢発展に寄与してまいる所存」と謝辞を述べました。

茨城県建設業者表彰は、県発注の建設工事を適正に施工し、優秀な成績で完成した建設業者と主任（監理）技術者をたたえるもので、今回は平成28年度に完成した知事部局2290件、企業局162件のうち、成績が特に優秀な施工者が表彰されました。

優秀技術と誠意ある施工が評価

一層の研さん、県勢発展に貢献



岡部会長が祝辞



受賞者を代表して
細谷武史さん（大昭建設株）
が謝辞を述べました



本会から受賞者に記念品を贈呈しました

平成29年 県建設業者表彰 受賞者（敬称略）

知事表彰建設業者（16社）

建設業者名	代表者	所在地
(株)秋山工務店	秋山 進	水戸市
菅原・岡部 JV	下田 德行	水戸市
山本・郡司 JV	山本 和男	土浦市
森田建設工業(株)	大橋 一博	古河市
櫻井建設工業(株)	櫻井 俊一	龍ヶ崎市
大昭建設(株)	細谷 武史	龍ヶ崎市
新井土木(株)	新井 紀雄	常総市
(株)後藤工務店	後藤 一憲	常陸太田市
(株)水府工務店	平山 巖	常陸太田市
水郷建設(株)	茂木 陽子	潮来市
(株)川田建材工業	川田 友正	筑西市
常総・誠殖産 JV	石津 正美	神栖市
(株)内田建設	内田 鏡子	鉾田市
(株)新みらい	小林 伸行	つくばみらい市
(株)大貫工務店	大貫 茂男	大洗町
松浦建設(株)	松浦 一久	阿見町

知事表彰主任（監理）技術者（5名）

氏 名	所属建設業者名
綿引 大	菅原・岡部 JV
原品 昭	山本・郡司 JV
吉田 茂生	櫻井建設工業(株)
茂木 秀敏	水郷建設(株)
川田 勝男	(株)川田建材工業

知事表彰10回建設業者（1社）

建設業者名	代表者	所在地
(株)大貫工務店	大貫 茂男	大洗町

知事表彰連続3回建設業者（1社）

建設業者名	代表者	所在地
新井土木(株)	新井 紀雄	常総市

土木部長表彰建設業者（20社）

建設業者名	代表者	所在地
(株)横田建設	横田 修一	水戸市

(株)秋山工務店	秋山 光伯	日立市
多賀土木(株)	松山 昭彦	日立市
茨城県南造園土木協業組合	外塚 真由美	土浦市
常陽水道工業(株)	池田 好男	土浦市
(株)岡本工務店	岡本 重男	古河市
(株)タカノ重機土木	高野 博文	古河市
市村土建(株)	市村 順	石岡市
(株)小倉工務店	岡本 眞一	結城市
(有)生田目工務店	生田目 勝義	常陸太田市
サコー建設(株)	迫 祥三郎	北茨城市
大堀電気工事(株)	大堀 公司	つくば市
(株)富晃	富山 まさ子	つくば市
(株)八木組	八木 幸雄	ひたちなか市
(株)鶴田組	鶴田 哲男	那珂市
大平建設(株)	大久保 一直	神栖市
伊東・沼田 JV	伊東 久夫	鉾田市
(株)椎名工務店	椎名 義正	大子町
細谷・天海 JV	細谷 よしの	河内町
高塚建設工業(株)	高塚 幹夫	八千代町

農林水産部長表彰建設業者（6社）

建設業者名	代表者	所在地
山川建設(株)	山川 武美	高萩市
キムラ工業(株)	木村 和夫	牛久市
(株)瀧工務店	瀧 文雄	常陸大宮市
白田工建(株)	白田 唯雄	桜川市
高橋建設(株)	高橋 修一	行方市
成島建設(株)	成島 高雄	つくばみらい市

企業局長表彰建設業者（5社）

建設業者名	代表者	所在地
日東・北都 JV	坂本 好郎	土浦市
倉田建材(有)	倉田 豊二	常総市
(株)田崎技術	田崎 雅広	潮来市
(株)平野産業	平野 正栄	那珂市
幸武建設(株)	野口 雅利	神栖市

仕事と自社の魅力伝える

県内初 合同企業説明会を開催

本会と県建設産業団体連合会は7月10日に水戸京成ホテルにて、県内初の「建設業合同企業説明会」を開催し、会員36社がブースを出展。2018年3月卒業予定の大学生や専門学校の生徒など102人の参加者に、会社概要や業務内容などを説明しました。

この説明会は、建設産業における担い手の確保・若年者の入職促進の取り組みの一環として開催したものです。(株)マイナビ茨城支社による「就職活動総点検講座」を開催後、参加者たちは各社のブースを訪問し、担当者による説明に熱心に耳を傾けました。

出展した企業からは「とても良いイベントだった。今回の取り組みが今後の採用活動にも生きてくると思う」、「学生の反応が良く分かり、こちらも勉強になった。開催を継続して欲しい」などの声が挙がりました。

筑波研究学園専門学校2年生の小島綾乃（こじま・あやの）さんと入江夏菜子（いりえ・かなこ）さんは「県内企業の仕事内容を知る貴重な機会に



なった。就職活動の視野が広がった」と感想。実家が工務店を営んでいるという藤田侑甫（ふじた・ゆうすけ）さん（水戸日建工科専門学校1年）は「いろいろな企業の話しを聞いて勉強になった。今後の参考にしたい」と話していました。



就職活動総点検講座も開催しました



学生たちは各社の説明に熱心に耳を傾けました

本会から2人が国土交通大臣表彰

おめでとうございます

本会の下田德行副会長と大和田米吉常任理事が平成29年度の国土交通大臣表彰を受賞されました。多年にわたり建設事業の振興に尽力され、公共の福祉の増進に多大な貢献をされたことが認められたものです。誠におめでとうございます。ますますのご活躍を祈念いたします。



表彰状を受け取った下田副会長（右）と大和田常任理事（左）

下田德行副会長

昭和22年1月14日生まれ、70歳。

菅原建設(株)代表取締役社長。本会では、平成18年に理事、20年に常任理事、28年に副会長に就任。水戸支部では22年から副支部長を務めています。

大和田米吉常任理事

昭和21年11月18日生まれ、70歳。

(株)大和田建設代表取締役社長。本会では、平成20年に常任理事、土浦支部副支部長に就任。つくば分会では19年から副会長を務めています。

県内全市町村で中間前払金導入

資金繰り改善へ、制度理解し活用を

建設業者の資金調達円滑化を目的とした「中間前払金制度」。本年度から北茨城市、河内町、美浦村が新たに導入を決定したことにより、県内44市町村全てで中間前払金が利用できるようになりました。

制度の大きな特徴は手続きが簡易であることです。部分払いは出来高検査が必要であるのに対し、中間前払金は書類審査のみ。認定手続きの際に提出するのは「認定請求申請書」と「工事履行報告書」だけです（発注者により別途書類を規定する場合もある）。施工資金の前払いにより、受注者は資金を円滑に調達できます。

東日本建設業保証(株)茨城支店がことし5月に実施した同制度に関するアンケート調査によると、利用者の9割超が「今後も使いたい」と回答して

おり、受注者にとって有益な制度であることが分かりました。

発注者の出来高認定手続きについては、「簡単だった」という印象を持った企業が6割に上った一方、手続き上求められていない出来高検査を「実施した」との回答が24.6%ありました。また、工事担当課もしくは担当官により、定められた書類以上の提出を求められたとの意見も見られました。

本年度に全ての市町村が導入するに至ったものの、導入間もない自治体も多くあり、普及には受発注者ともに十分な理解が必要となります。制度をしっかりと理解し、有効な資金繰りの手段として活用しましょう。

検査項目の統一化を

県検査指導課・ 検査監と意見交換会



池田県土木部検査
指導課首席検査監



細谷担当副会長



本会の土木委員会（梅原基弘委員長）は、7月11日に建設センターにおいて、県土木部検査指導課・検査監と意見交換会を行い、検査項目等の統一化や設計照査、設計変更などについて意見を交わしました。

検査項目等の統一化については、検査監によって「検査用チェックリスト」「建設工事必携」に基づく必要書類以上に提出を求めるものが多く、完成検査のたび要求が過度になる傾向を明示。書類確認事項の統一と徹底を督しました。

設計照査については、地下埋設物などの工事支

障物について、事前協議が完了されないまま工事が発注されるケースを指摘。発注前の正確な設計照査や協議未了のうちに発注する場合は、特記仕様書へ明記するなどの配慮を求めました。

工事成績評定では、すべての工事の平等適正な評価を求め、ICT土工について、工事成績評定の評価項目における適切な対応について県の考え方を質しました。

このほか、現場施工ができない場合の適切な一時中止指示と必要な経費計上、本庁起工工事における立ち会い検査日程の柔軟な対応を求めました。

施工管理スキル学ぶ

つくばと水戸で現場代理人セミナー開催

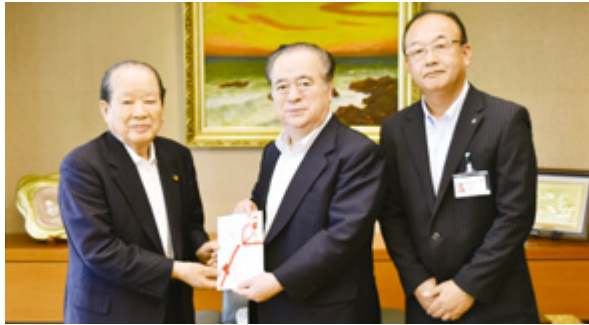
本会は県土木施工管理技士会と、現場代理人スキルアップセミナー「施工マネジメント研修」を6月22、23日につくば市の筑波研修センターで、7月13、14日に水戸市の県建設技術研修センターで開催しました。

セミナーの講師は、(株)創成マネジメントの宇野正明代表取締役、濱口吉人常務取締役、中村勝彦経営改善コンサルティング本部部長が務め、◇現場代理人の施工マネジメント◇現場の事業継続計画（BCP）の実践◇業務改善のすすめ方、自社のコスト診断◇現場のコストダウン（コストダウ



ン7%への道）◇現場代理人の現場でのOJTなどについてテーマごとに解説。参加者は、現場代理人に必要なスキルを幅広く学びました。

**日本赤十字社へ寄付
ゴルフ大会のチャリティー金など**



7月13日に、岡部英男会長が日本赤十字社の県支部長を務める橋本昌県知事のもとを訪れ、6月15日に開催した第3回支部対抗チャリティーゴルフ大会における皆様からの善意と、昨年11月に開催した創立60周年記念公演のチャリティー金を合わせた19万3590円を贈呈しました。橋本知事は、寄付に礼を述べ「災害救護活動や救援物資の備蓄、救急法講習などの赤十字活動に充当したい」と話していました。

**100人が参加し
貴重な血液提供**



本会太田支部（瀬谷實支部長）は7月4日に常陸太田市建設防災協議会と合同で県常陸太田合同庁舎において献血活動を行い、支部員や関係者など約100人が参加しました。県赤十字血液センター献血推進部献血課の埴正春係長は「多くの方にご協力いただき、大変ありがたい」と感謝していました。

**水戸支部
活動報告
除草作業研修で
安全意識高める**



約200人が安全作業について学んだ

本会水戸支部（尾曾正人支部長）は、県水戸土木事務所、県造園建設業協会県北支部と合同で、7月11日に県水戸合同庁舎において工事現場担当技術者研修会を開催。約200人が参加し、労働安全衛生法や除草機械の操作方法などについて学びました。

会員の動向

〈代表者変更〉

- ▽ 常総支部
鈴木鉄工建設(株) 鈴木 幸男 → 鈴木 敏男

ちよつと言



格闘技人気に押され、一時期下火となっていたプロレスですが、現在はチケットがソールドアウトになるなど、人気が復活しています。その人気の一因を担っていると言っても過言ではないのが女性ファン。実際に会場に出向くと、男性と女性の客層がほぼ半々であることも。プロレスは今や男性だけが楽しむスポーツではなくなっています。今では、「プロレス女子」を略した「プ女子」という造語まで誕生するほど。いつだってブーム（流行）をつくるのは女性なんですね。(S)

八代亜紀さんの歌声を堪能

創設 100 周年チャリティーコンサート開催



岡部会長から八代さんに花束が手渡されました



2回の講演で計1750人が詰め掛けました



舟唄など17曲を披露しました

本会は7月17日、創設100周年記念八代亜紀プレミアムチャリティーコンサートを水戸市の水戸プラザホテルで開催しました。八代さんは雨の慕情や舟唄など17曲を披露。2回公演で集まった計1750人の聴衆は、素敵な歌声を堪能しました。また会場に設置したチャリティーボックスには、多くの善意が寄せられました。

このコンサートは、本会の前身である県土木建築請負業組合の結成から満100年を迎えることを記念するとともに、業界の発展を支えた会員やその家族に感謝を表すために催したものです。

冒頭、岡部会長は協会のこれまでの歩みに触れ「満100年の節目を迎えることができたのも、会員企業はもとより、それを支える家族の皆さまのおかげだと思っている」とした上で、公演について「素晴らしい歌声を心行くまで堪能していただければ」とあいさつ。

来賓の橋本昌県知事は「県内への企業立地が進んでいるのは、道路などのインフラ整備がしっかりと進んでいるから。県内に活気がでてきたのは建設業の皆さまが土台を作ってくれたおかげ。また災害時に頼りになるのが県建設業協会。いざというときにいてくれる地場の建設業者はとても大事」と感謝を述べた上で、100周年を祝いました。

コンサートでは、八代さんがユーモア溢れるMCを交えながら、17曲を披露し、1750人の聴衆は、素敵な歌声に聞き入っていました。